

平成30年度 経営発達支援事業実施評価表

京北商工会

I. 経営発達支援 計画事業内容	1. 地域の経済動向調査 に関する事	経営支援員による景況調査を4業種で12社をピックアップし個別巡回にて年2回実施。独自調査としては、小規模事業者への経済動向調査を郵送調査にて239事業所を対象に実施しました。調査報告については広報誌及びホームページにて公開予定でしたが、年度末にドメイン変更あり遅れての公開となりました。今後は定期的な情報公開が課題です。	B
	2. 経営状況の分析に 関すること	経営分析セミナーの開催により、参加者へ経営分析手法の解説や個別事業所の経営分析を実施しました。また、税務支援、金融支援、補助金支援時に経営分析支援を行いました。中小機構の経営自己診断システムを利用し分析を行いました。	A
	3. 事業計画策定支援に 関すること	事業計画作成セミナーを4日間コースで開催し、個別専門家相談をセットに成り行き経営脱却、事業計画の仕組み、作成方法の理解、事業者が主体となる事業計画の策定について実施し、各種補助金申請や計画認定に向けた策定及び計画実行支援を行った。	A
	4. 事業計画策定後の実 施支援に関する事	小規模事業者が策定した事業計画を実行し進めていく中で巡回訪問や窓口相談を通じフォローアップ支援を実施しました。また、専門家による個別相談会も開催し、計画の更なる充実と、法認定等への誘導も行い、推進のための計画的なフォローが今後は課題	A
	5. 需要動向調査に 関すること	経済動向調査を実施する中で、1年目はあまり実施する意味がないと判断したため、未実施とした。5年計画の中で目標達成するべく次年度以降実施していきます。	E
	6. 新たな需要の開拓に 寄与する事業に 関すること	新たな販路開拓を支援するため、販路開拓セミナーを開催し最新のITツールを活用した情報提供を行った。また、プレスリリースによるメディアへの情報発信を支援し、16件の採択がいただけた。今後は商談成約に繋げていくことが課題である。	B
II. 地域経済の活 性化に寄与す る取組	7. 地域経済の活性化に 寄与する取組	京北地域の関係団体との連携を図り、実行委員会体制にて「京北夏まつり」、「京北ふるさとまつり」が開催。当初予定していた春のイベントについては未実施となったため目標実施件数減によりB評価としました。インバウンド観光受入人数については大幅増加	B
III. 経営発達支援 事業の円滑な 実施に向けた 支援能力向上 のための取組	8. 他の支援機関との連 携を通じた支援ノウ ハウ等の情報交換に 関すること	地域金融機関との支援ノウハウや情報交換をするべく年2回の金融懇談会を開催。また日本政策金融公庫とも年1回の会議を開催しました。京都府商工会連合会との連携によりエキスパート利用やビジネスサポートセンターとの連携による創業者情報交換、発明協会との連携による相談会の開催をいたしました。	A
	9. 経営指導員等の資質 向上等に関する事	経営支援員の資質向上を図るため、支援能力の向上を図ることを目的に「研修等でのOFFJT」及び「現場でのOJT」を実施しました。本年においては全国連の経営支援マネージャーや財務アドバイザーの認定など精力的に取り組みました。	A
	10. 事業の評価及び見直 しに関する事	経営発達支援計画の推進にあたり、「経営発達支援事業評価検討委員会」の開催をし、事業の成果に基づいた評価を受けました。評価については、理事会での報告及び本会ホームページにて公開を行いました。	A

- 評価基準
- A：目標を達成することが出来た（100%以上）
 - B：目標を概ね達成することが出来た（80～99%）
 - C：目標を半分程度しか達成することが出来なかった（30～79%）
 - D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 - E：未実施